

12月教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和元年12月19日（木） 午後2時00分～午後2時30分
- 2 場 所 北部地区多目的研修集会施設 農事研修室
- 3 出席者 教 育 長 渡辺 宜宏
委 員 袴田 雄司 佐原 陽子 河合 禎隆 田中ゆかり
事 務 局 教 育 次 長(鈴木 徹) 教育総務課長(太田英明)
学 校 教 育 課 長(鈴木聖慈) 幼 児 教 育 課 長(小野田剛士)
社 会 教 育 課 長(吉原 淳) スポーツ・文化課長(岡本 聡)
図 書 館 係 長(山本茂明) 教 育 総 務 係 長(木下靖義)
- 4 議 案 第 24 号 平成 30 年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の
作成及び議会提出について

午後2時00分開会

(渡辺教育長) 出席は5名、定足数に達しているので、令和元年12月湖西市教育委員会定例会を開会する。審議に入る前に、事務局から報告の申出があったので、事務局の発言を認める。教育総務課長。

(教育総務課長) 11月の教育委員会定例会において承認頂いた議案第23号「令和元年度湖西市一般会計補正予算（第4号）要求について」、12月11日開催の湖西市議会12月定例会本会議において、要求どおり可決されたので報告する。

以上。

(渡辺教育長) それでは審議に入る。

議案第24号「平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」、事務局の説明を求める。

(教育総務課長) 議案第24号「平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、市長に別紙のとおり補正予算を要求したいので、教育委員会の意見を求める。令和元年12月19日提出 湖西市教育委員会教育長 渡辺宜宏。

平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書は、本年9月に教育委員会協議会において説明した平成30年度の教育委員会の事業に対する点検・評価の概要に、11月に外部評価委員会を2回開催し、委員からの意見、助言を加えたものである。追加した内容について説明する。報告書に湖西市の平成30年度決算についての資料を掲載した。これは広報こさい11月号に掲載したものと同一である。平成30年度決算において、教育委員会全体の事業費である教育費は19億9,000万円。市全体の決算額199億6,000万円に対して約10.0%となっている。本日の報告では、自己点検・評価の概要についての説明は省略して外部評価委員からの意見について説明する。

外部評価委員は、教育に関し学識経験を有する5名の委員にお願いした。外部評価委員会は、11月12日に自己点検・評価報告書を基に、各課から事業の説明と質疑応答を行った。第2回外部評価委員会は、11月29日に行い、各委員から事業に対する意見聴取と質疑応答を行った。委員から頂いた意見は、報告書全体にわたるもの、各所管課の事業に係るものの順番で掲載している。また、報告書のページと事業名を、委員意見の前に表記をしてどの事業に対する意見であるのかを分かるようにまとめている。報告書全体については、「報告書と資料編は、明日の湖西を創る”ひと”づくりに向けて目標・方針、重要度などわかりやすくまとめられており、事業概要と評価が理解しやすい」という意見を頂いた。来年度2020年度に教育振興基本計画、スポーツ推進計画、生涯学習推進計画が最終年度を迎えることから、「自己点検評価や外部評価を反映し次期の計画に生かしていただきたい」との意見をいただいた。学校、教育施設の老朽化については、各地で台風など自然災害が発生している現状を踏まえ、「安全で安心な施設づくりに取り組んでいただきたい。中でも児童生徒の安全安心を最優先に取組を進めて欲しい。」という要望をいただいている。人手不足についての意見も多くあった。学校の臨時講師、特別支援員のほか、幼児教育の無償化が始まったことから、更に保育士不足が生じることが見込れるため、「潜在する人員の発掘と再任用教職員の活用などのほか、働き方の見直しなど、様々な対策を講じるべき」との意見

を受けた。

各所管課の事業に対する意見について、主な意見を申し上げますと、総合教育会議においては、「教育委員会と市長との連携を深め、情報共有を図って、教育の事業に取り組んでいただきたい」との意見があった。学校・幼稚園の教育指導に係る意見では、「特別支援員や通訳員の増員と人的支援の拡充を期待する」との意見のほか、教育扶助費の新入学用品費の入学前支給の実施や、学校の健康診断において耳鼻科健診が実施されるなど見直しが進んだことへの評価をいただいた。このほか、SNS犯罪が増加している中で、児童生徒のインターネット、SNSの活用についての意見も頂いている。社会教育については、家庭教育にかかわる各課と関係機関との情報交換の場の設定や、文化財保護については湖西中学校に設置しているふるさと学習室の常時開放できる場所について、スポーツ推進においては高齢者の生きがいづくりにスポーツに親しむ場の提供について、などの意見が出された。図書館においてはイベント参加者や貸し出し冊数とも増加していることについて高く評価をいただいた。このように、全体的には改善の検討や要望も含めまして、今後への期待が込められた委員からの意見であった。

最後に外部評価委員からの意見を受けて、教育委員会として今後の目標も含めた総合評価を示しており、厳しい財政事情の中で、教育行政の課題解決に向けて着実に取り組む姿勢等々を評価いただくとともに、ここで得られた外部の知見とともに、この点検・評価を生かして、湖西市教育振興基本計画の基本理念である「明日の湖西を創る”ひと”づくりにまい進するとし、教育委員会の事務内容の点検と積極的な情報公開・説明責任に努めると教育長名で報告する。この平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書は、平成30年度主要施策成果の説明書で作成した資料編とともに、12月中に市議会に提出する予定であり、あわせて、市のウェブサイトでも公表する予定である。

以上。

(渡辺教育長) 質疑のある方は発言をするように。

(佐原委員) 委員の意見の中で、SNS犯罪が増加している中で、今後は児童生徒のSNSの使用について指針を設けるなど検討願いたいとあるが、市としての指針を作って欲しいという要望なのか。

(教育総務課長) 現在、当市においては、各学校、各家庭ごとに対応している状況である。市町によっては、この時間は使用しないといったSNSの使用時間を定めたルールがあると聞いており、そういったルールを検討してみてもどうかという意見である。

(渡辺教育長) 今のところは、一斉に何時以降は使用しないということではなく、各家庭でルールを決めるという運用で進んでいる。PTA連絡協議会においては、21時以降は使わないようにしましょうという通知を保護者あてに出している。

(佐原委員) 教科書にQRコードが付くなど、スマートフォンの利用はますます増えると思う。今後、指針について話し合う場を持つことも意見には含まれていると思う。今後の予定はあるのか。

(学校教育課長) 健康面では、ゲームも含めた使い方については、養護教諭を中心に研究している。検討していくが、今すぐにといいことはない。

(佐原委員) 実際に湖西市内で、SNSを使用した問題は報告されているのか。

(学校教育課長) 中学生についてはそういった報告はある。

(渡辺教育長) 今のところは、やり過ぎがないように注意している状況である。ルールを作ったらどうかという意見と、ルールは家庭で決めるべきではという両極の意見

がある。

(河合委員) 外国語通訳員の充実と増員について、適正な人員を確保できない場合に、翻訳アプリを利用していく考えはあるか。

(幼児教育課長) 現時点でも活用しているが、細かい内容だと伝わらないので、通訳員がいると助かる。アプリだけですべては対応できていない。

(河合委員) 授業の中で活用することは考えてないか。

(学校教育課長) 外国人の児童については、通訳員が補助について授業を受けている。国語や社会の授業は、日本に来たばかりの児童には難しいので、別室で日本語の読み書き、日常会話を勉強している。ただし、外国人の児童は急激に増えてきているので、1週間に1時間程度、4、5人の児童に対し1人の通訳員で対応しているので、十分ではないかもしれない。通訳員については他の企業等でも必要とされているので、人員がなかなか増えない。

(佐原委員) 通訳員はフルタイムで勤務しているのか。

(学校教育課長) フルタイムではなく、各学校ごとに曜日を決めて配置している。

(渡辺教育長) 他に質疑がないようであれば、議案第24号「平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」を採決を行うがよろしいか。本案を原案のとおり承認する方の挙手を求める。

(挙手全員)

(渡辺教育長) 挙手全員である。よって、議案第24号「平成30年度湖西市教育委員会自己点検・評価報告書の作成及び議会提出について」は原案のとおり承認された。

(渡辺教育長) 本日の案件については、これをもって全て終了した。

これにて、令和元年12月湖西市教育委員会定例会を閉会する。

閉 会 午後2時30分終了